

BIZEN CITY
Community Development

資料編



1. 新型コロナウイルス感染症の大きな影響からの回復を目指す指標

(累計値の場合、指標名に(累計)と標記)

施策	指標名	基準値	感染症の影響 2020年度値	目標値
政策1 誰もがいつまでも成長し続け、輝けるまち（教育・文化）				
1-1 生涯学習の充実	小中学生に関わる地域の支援者数	6,134人	3,064人	6,200人
	公民館利用者数	105,511人	58,470人	116,000人
1-5 スポーツ・レクリエーション活動の推進	市内体育施設の利用者数	309,000人	237,239人	310,000人
	県内外を対象とした大会等の参加者数	2,000人	125人	3,000人
政策2 地域で支え合う持続可能なまち（交流・コミュニティ）				
2-1 コミュニティの育成と地域活動の支援	ふるさとづくり事業を活用した活動数	22団体	8団体	26団体
2-3 国際理解と多文化共生の推進	国際交流事業派遣団員募集倍率	1.4倍	-	1.6倍
政策3 誰もがいつまでも安心して暮らせるまち（健康・福祉）				
3-2 子育て支援の充実	地域子育て支援拠点利用者数	24,248人	19,492人	25,680人
政策4 地域の活力を生む産業を振興させるまち（産業経済・都市計画）				
4-3 魅力ある資源を活かした観光の推進	市内観光入込客数	88万人	61万人	94万人
	SNS (Facebook、Instagram、YouTube) の閲覧数 (累計)	62,630件	22,595件	102,100件
	観光ボランティアガイドの利用者数	4,094人	1,330人	4,300人
	訪日外国人旅行者数	1,533人	107人	1,650人
政策6 環境を大切にして未来につなぐまち（生活環境）				
6-1 公共交通の確保	市営バスの年間利用者数	100,928人	86,682人	105,000人
	生活交通チケット利用率	53.7%	48.7%	60.0%

2. 施策の目標

(累計値の場合、指標名に(累計)と標記)

指標名	基準値		目標値 (2024)	算定式	出典・定義など
	時点	数値			
政策1 誰もがいつまでも成長し続け、輝けるまち(教育・文化)					
1-1 生涯学習の充実					
小中学生に関わる地域の支援者数	2019年度	6,134人	6,200人	支援者の年間延べ人数	「地域学校協働本部」及び「まなび塾+」
市民一人あたり図書貸出冊数	2020年度	2.2冊	3.1冊	貸出冊数÷人口	岡山県内公共図書館調査
公民館利用者数	2019年度	105,511人	116,000人	年間の公民館利用者数の合計	市内全公立公民館(16館)総利用者数
1-2 就学前の教育、保育等の充実					
一時保育利用人数	2020年度	2,168人	1,000人	年間一時保育利用人数の合計	伊部・日生・吉永認定こども園の一時保育
公立保育園・こども園への入園率	2020年度	71.0%	80.0%	全入園児数÷0~6歳未満の人数	入園児数 住民基本台帳
私立保育園・認可外保育への入所人数	2020年度	16人	40人	入所児童数	私立保育園 認可外保育園
「子どもが楽しく園に通っている」と思う割合	2020年度	96.6%	100.0%	「子どもが楽しく園に通っている」と回答した人の数÷アンケート回答者数	保護者アンケート調査
1-3 学校教育の充実					
ICT活用スキル達成度・ICT環境満足度	2019年度	—	80.0%	ICT活用スキル達成度(教員)とICT環境満足度(児童生徒)の平均値	備前市学習環境に関する調査
外国語教育環境満足度	2019年度	—	90.0%	複数調査項目の平均値	備前市学習環境に関する調査
貸出冊数・学校図書満足度	2019年度	—	90.0%	貸出冊数の達成率と学校図書満足度平均値	備前市学習環境に関する調査
希望進路意識・進路決定率	2019年度	—	90.0%	希望する進路が決定している生徒の割合、進路決定調査、志願者数	進路意識調査
1-4 歴史文化の活用と伝統文化の継承					
市内文化財の新規指定等の候補件数(累計)	2019年度	2件	19件		対象文化財の調査件数・文献調査及び現地調査
論語かるた大会の参加者数	2019年度	46人	100人	参加者数の合計	論語かるた大会
出前授業等の市内教育関連事業で行った内容の理解度	2020年度	—	90.0%	「授業内容を理解できた」と回答した人の数÷アンケート回答者数	出前授業等における児童へのアンケート調査

指標名	基準値		目標値 (2024)	算定式	出典・定義など
	時点	数値			
文化施設開催の講座・ワークショップ参加者数	2019年度	810人	850人	参加者数の合計	文化施設開催の講座・ワークショップ
文化関連で発信したYouTube動画再生回数(累計)	2020年度	100回	10,000回	動画再生回数	文化関連で発信したYouTube
芸術文化に接する機会があった市民の割合	2020年度	23.0%	45.0%	「自ら文化芸術活動をした」「文化芸術作品を鑑賞した」と回答した人の数÷調査回答者数	市民意識調査
1-5 スポーツ・レクリエーション活動の推進					
週1回以上運動する人の割合	2020年度	33.3%	45.0%	「週1回以上はしている」と回答した人の数÷調査回答者数	市民意識調査
市内体育施設の利用者数	2019年度	309,000人	310,000人	年間利用者数の合計	久々井、日生、吉永運動公園施設利用状況報告書
県内外を対象とした大会等の参加者数	2019年度	2,000人	3,000人	参加人数	県内外から参加者を募る大会
政策2 地域で支え合う持続可能なまち(交流・コミュニティ)					
2-1 コミュニティの育成と地域活動の支援					
各地区まちづくり会議組織数(累計)	2020年度	7地区	10地区		市内10小学校区
ふるさとづくり事業を活用した活動数	2019年度	22団体	26団体	補助金交付件数	ふるさとづくり事業補助金
地域おこし協力隊SNSフォロワー数	2020年度	17,600人	30,000人	地域おこし協力隊SNSフォロワー数	Facebook及びInstagram
2-2 人権問題の解決					
人権教育・啓発研修会での関心・理解の割合	2020年度	64.9%	80.0%	「大変深まった」「深まった」と回答した人の数÷アンケート回答数	人権教育・啓発研修会実施後のアンケート
DVに関する相談窓口を知っている割合	2020年度	43.3%	50.0%	「知っている」と回答した人の数÷調査回答者数	市民意識調査
市の審議会等委員の女性比率	2020年度	34.7%	40.0%	女性委員数÷委員数	第3次男女共同参画基本計画実績報告
地域や職場で男女が対等に活躍できていると感じている市民の割合	2020年度	26.3%	40.0%	「そう思う」「まあそう思う」と回答した人の数÷調査回答者数	市民意識調査

指標名	基準値		目標値 (2024)	算定式	出典・定義など
	時点	数値			
2-3 国際理解と多文化共生の推進					
市とつながりのある外国人市民の国籍数の割合	2020年度	42.9%	100.0%	市とつながりのある外国人市民の国籍数÷外国人市民の国籍数 9カ国÷21カ国	ALT、英会話教室・日本語教室の講師及び参加者、備前市国際交流協会会員、その他市の行事に参加した外国人を「つながりのある外国人」と定義
国際交流事業派遣団員募集倍率	2019年度	1.4倍	1.6倍	応募人数÷募集人数	姉妹都市等(アメリカ・オーストラリア・韓国)への国際交流事業派遣団員の募集倍率
政策3 誰もがいつまでも安心して暮らせるまち(健康・福祉)					
3-1 生涯を通じた健康づくりの推進					
自分の健康に気をつけている市民の割合	2020年度	81.9%	90.0%	「気をつけている」と回答した人の数÷調査回答者数	市民意識調査
運動習慣のある市民の割合	2018年度	21.6%	30.0%	「1回につき30分以上の運動を定期的(週2回以上)に1年以上行っている」と回答した数÷アンケート回答者数	備前市健康づくりアンケート
朝食を毎日食べる3歳6か月児の割合	2020年度	93.0%	96.0%	朝食を毎日食べる3歳6か月児数÷全3歳6か月児数	乳幼児健診データ
患者千人あたり新規人工透析患者数	2020年度	0.258人	0.126人	新規人工透析患者数÷(国民健康保険被保険者÷1,000)	KDBシステム医療費分析(細小分析)
特定健康診査受診率	2019年度	38.1%	52.0%	特定健康診査受診者数÷国保有資格者(40~74歳)	特定健康診査
自殺死亡率(人口10万人あたり)	2020年度	17.5	15.0		地域における自殺の基礎資料(自殺日・住居地)
3-2 子育て支援の充実					
安心して子どもを産み育てることができるまちと思う市民の割合	2020年度	42.7%	46.0%	「そう思う」「まあそう思う」と回答した人の数÷調査回答者数	市民意識調査
放課後児童クラブ利用(登録)者数	2020年度	394人	579人	家庭類型別児童数×利用者意向率	子ども・子育て支援事業計画
地域子育て支援拠点利用者数	2019年度	24,248人	25,680人	年間利用者数の合計	わくわくルーム、うみっこ丸、しずちゃん家、備前プレーパーク、子育て支援センター

指標名	基準値		目標値 (2024)	算定式	出典・定義など
	時点	数値			
子ども第三の居場所利用者数	2020年度	577人	1,200人	年間利用者数の合計	なないろキッズ
3-3 生活困窮者等の自立支援					
就労支援による就労者数	2019年度	12人	15人	就労後継続して生活保護の場合を含む	就労支援促進計画(実績値)
生活保護から自立した世帯数	2019年度	22世帯	24世帯	引き取り・転出を含む(死亡除く)	生活保護システム
生活困窮者からの相談件数	2019年度	99件	120件	生活保護の申請相談を含む	生活保護システム
3-4 障がいのある人への福祉の充実					
放課後等デイサービス利用者数	2020年度	107人	120人	年間利用者数の合計	放課後等デイサービス実施施設
一般相談実利用者数	2020年度	349人	1,000人	毎月的一般相談実利用者の合計	福祉行政報告例第21の3
施設入所からの地域移行者数	2020年度	0人	1人		障がい福祉計画
就労継続支援(A型・B型)利用者数	2020年度	183人	200人	年間利用者数の合計	就労継続支援施設
成年後見制度利用支援事業利用者数	2020年度	6人	6人	年間要請数の合計	成年後見制度利用支援事業
3-5 高齢者への福祉の充実					
地域活動への参加率	2019年度	6.9%	9.0%	「既に参加している」と回答した人の数÷調査回答者数	日常生活圏域ニーズ調査
市民主体の「通いの場」への参加率(月1回以上)	2020年度	16.9%	18.0%	月1回以上開催の通いの場に参加している人数÷1号被保険者数(65歳以上の方)	包括支援センター調べ
認知症サポーター養成数(累計)	2020年度	4,329人	4,600人	受講者数の合計	認知症サポーター養成講座
市民後見人の登録者数	2020年度	10人	20人	登録者数の合計	市民後見人台帳
出前講座(ACP)の受講者数	2020年度	17人	50人	受講者数の合計	出前講座(ACP)
3-6 地域に密着した医療サービスの提供					
訪問看護ステーション利用者数	2020年度	3,480件	4,000件	訪問看護ステーション利用者数の合計	訪問看護ステーション
救急応需率	2020年度	75.8%	80.0%	救急受入数÷救急受入依頼数	東備消防管轄内の市立3病院

指標名	基準値		目標値 (2024)	算定式	出典・定義など
	時点	数値			
病床利用率	2020年度	70.4%	80.0%	入院患者延数÷病床延数	市立3病院の全病床種別合計
100床あたり医師数	2020年度	10.5人	12.0人	医師常勤換算数÷病床数	市立3病院
経常収支比率	2020年度	99.0%	100.0%	経常収益÷経常費用	備前市病院事業会計

政策4 地域の活力を生む産業を振興させるまち（産業経済・都市計画）

4-1 商工業・海運業の振興

テレワーク等施設整備件数（累計）	2020年度	1件	3件	補助金交付件数	備前市サテライトオフィス等誘致事業補助金
ハローワーク備前管内における就職人数	2020年度	408人	430人		ハローワーク備前
企業誘致件数	2020年度	0件	2件	奨励金交付件数	企業誘致奨励金
新規創業者数	2020年度	3人	7人	交付件数	備前市創業奨励金
空き店舗改装数	2020年度	0件	3件	補助金交付件数	商業振興対策事業補助金

4-2 魅力ある農林水産業の推進

意向調査実施面積（私有林人工林面積）（累計）	2020年度	25ha	115ha	年間調査実施面積	単年で意向調査を実施した面積（私有林人工林面積1,739ha/16年）
新規猟友会会員数	2020年度	1人	3人	新規者数	岡山県東備地区猟友会名簿
新規就農者数	2020年度	3人	2人	新規者数	岡山県新規就農者調査
農地の利用権設定面積（累計）	2020年度	130ha	180ha		備前市農業委員会
人・農地プラン実質化取組件数	2020年度	5件	3件		人・農地プラン
漁業者一人あたりの水揚げ高	2020年度	12百万円	14百万円	水揚げ高÷（カキ養殖者+漁船漁業者）	市内漁業協同組合

4-3 魅力ある資源を活かした観光の推進

市内観光入込客数	2019年度	88万人	94万人	報告合計値	市内観光施設
SNS（Facebook、Instagram、YouTube）の閲覧数（累計）	2019年度	62,630件	102,100件		備前市観光部門公式Facebook、Instagram、YouTube（リーチ数、再生回数）

指標名	基準値		目標値 (2024)	算定式	出典・定義など
	時点	数値			
観光ボランティアガイドの利用者数	2019年度	4,094人	4,300人		観光ボランティアスケジュール台帳
訪日外国人旅行者数	2019年度	1,533人	1,650人		旧閑谷学校・国際交流ヴィラ・備前観光協会集計値

4-4 秩序ある土地利用と良好な市街地（都市施設）の形成

市道浦伊部線の道路整備率（累計）	2020年度	0.0%	70.0%	計画延長÷整備延長	道路台帳
市民一人あたりの都市公園面積	2020年度	8.6㎡	9.0㎡	都市公園面積÷都市計画区域人口	年度別備前市都市公園市民一人あたりの面積表

4-5 移住・定住の促進

空き家情報バンク登録物件成約数	2020年度	24件	30件		空き家情報バンク
東京・大阪大都市圏からの転入者数	2020年度	84人	100人		岡山県毎月流動人口調査
補助制度を利用した移住者数	2020年度	144人	180人	交付件数の合計	住宅施策関連事業補助金
移住相談件数	2020年度	164件	180件		県への相談件数報告表

4-6 住宅の供給と安心できる住環境の整備

分譲宅地の整備区画数（累計）	2020年度	—	16区画		宅地造成分譲事業特別会計
特定空家等除却件数	2020年度	8件	10件	危険（特定）空家除却件数	空家等除却支援事業補助金
特定公共賃貸住宅の入居率	2020年度	47.0%	100.0%	入居戸数÷管理戸数	公営住宅管理システム
公営住宅の用途廃止後（除却）における宅地面積（累計）	2020年度	0㎡	6,200㎡	除却した公営住宅面積	用途廃止後（除却）の宅地面積

政策5 安全で快適な生活が送れるまち（安全・生活基盤）

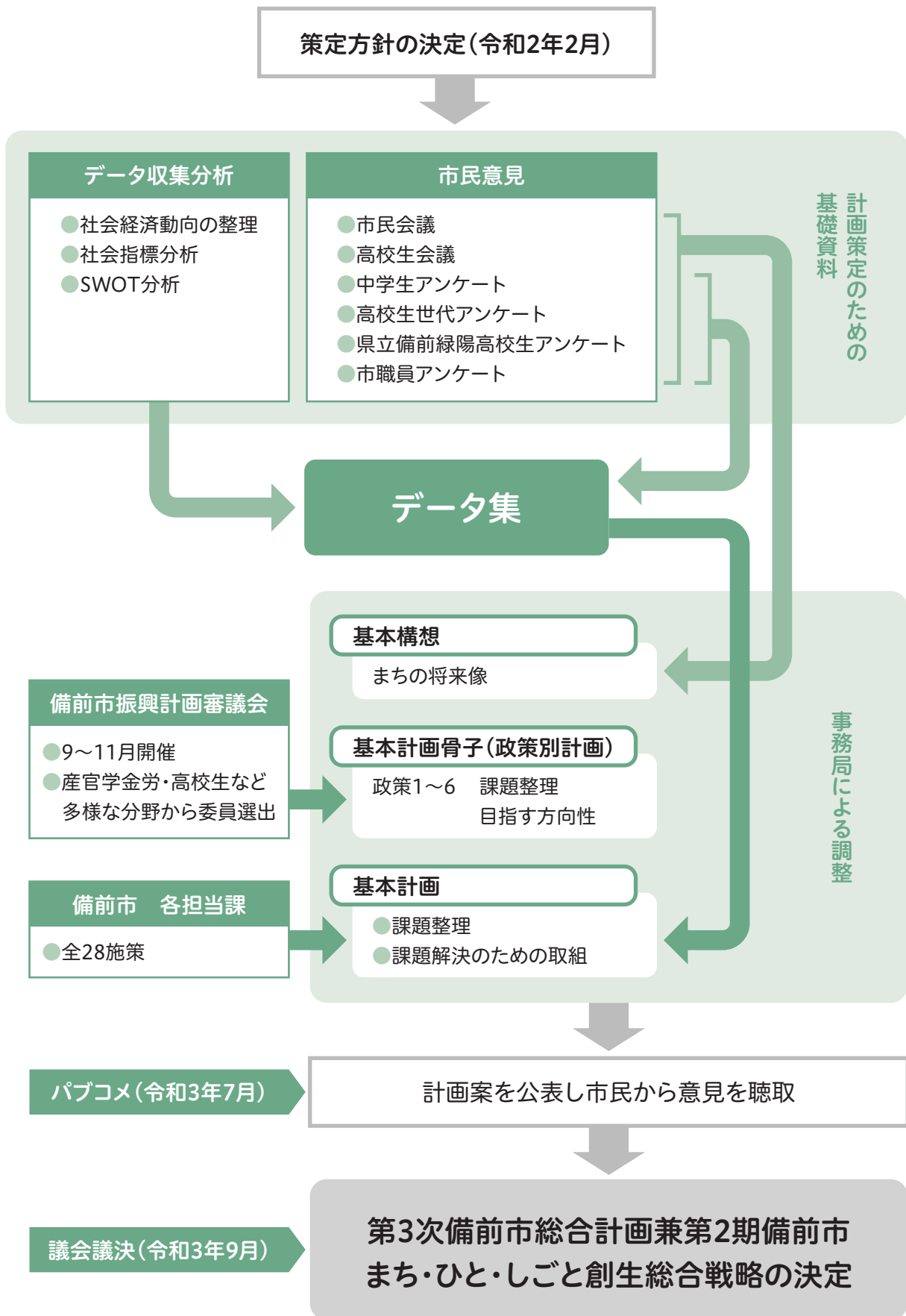
5-1 防災・防犯体制の強化

防災行政無線整備率（累計）	2020年度	48.3%	100.0%	124.57km ² （旧日生町＋旧吉永町面積）÷258.14km ² （総面積）	備前市行政区域面積
消防団員の定員充足率	2020年度	94.9%	100.0%	団員の定員が充足している消防団数÷すべての消防団数	消防団管理システム

指標名	基準値		目標値 (2024)	算定式	出典・定義など
	時点	数値			
自主防災組織の組織率 (累計)	2020年度	89.5%	100.0%	自主防災組織加入世帯数÷全世帯数	
防災訓練活動への参加率	2020年度	33.6%	50.0%	「防災訓練に参加した」と回答した人の数÷調査回答者数	市民意識調査
備蓄品を3日分以上用意している市民の割合	2020年度	26.5%	50.0%	「備蓄品を3日分以上用意している」と回答した人の数÷調査回答者数	市民意識調査
5-2 河川改修・砂防施設整備					
河川改良箇所数	2020年度	2件	2件	年度ごとの河川の改良箇所数	
河川浚渫件数	2020年度	9件	9件	年度ごとの河川の浚渫箇所数	
防災重点ため池のハザードマップ作成数	2020年度	5件	5件	年度ごとの作成箇所数	
5-3 安全でおいしい水の安定供給					
基幹管路耐震化率(累計)	2019年度	31.3%	40.9%	耐震化した基幹管路÷基幹管路総延長	備前市水道ビジョン
配水池耐震化率(累計)	2019年度	87.4%	91.7%	耐震化した配水池容量÷配水池総容量	備前市水道ビジョン
有収率	2019年度	75.0%	85.0%	一年間の有収水量(料金徴収の対象となった水量)÷1年間の配水量(浄水場から送った水量)	備前市水道事業会計決算書
5-4 生活排水の適正処理					
下水道整備率(累計)	2020年度	83.3%	90.0%	整備面積÷計画面積	備前市下水道事業会計決算書
水洗化率(累計)	2020年度	92.4%	93.4%	水洗化人口÷行政人口	備前市下水道事業会計決算書
下水道事業の経費回収率	2020年度	98.1%	130.0%	下水道使用料÷汚水処理費	
放流水質COD	2020年度	7.9mg/L	20.0mg/L以下	全処理場の年間平均値 ※放流水質COD上限値20.0mg/L	備前浄化センター、三石浄化センター、日生浄化センター、吉永浄化センター、大股清水苑、新庄浄化センター、頭島浄化センター、大多府浄化センター

指標名	基準値		目標値 (2024)	算定式	出典・定義など
	時点	数値			
5-5 道路・港湾の整備					
橋梁の補修箇所数(27箇所)	2020年度	7箇所	27箇所 (2023年)		補修を要する対象施設R1(2019年)~R5(2023年)の5箇年、27橋
市道整備率(累計)	2020年度	21.3%	22.0%	幅員4m以上の市道延長÷市道実延長	道路台帳
政策6 環境を大切に未来につなぐまち(生活環境)					
6-1 公共交通の確保					
市営バスの年間利用者数	2019年度	100,928人	105,000人	全便数の利用者数の合計	市営バス事業
市営バス1便あたりの平均乗車数	2020年度	2.5人	2.9人	乗車数÷市営バス便数	市営バス事業
生活交通チケット使用率	2019年度	53.7%	60.0%	チケット使用枚数÷チケット交付枚数	生活交通チケット
JR1日あたりの利用者数	2019年度	2,764人	3,000人	市内鉄道駅の1日平均旅客数の合計	岡山県統計年報
6-2 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進/斎場/墓地					
市民一人1日あたりのごみの排出量	2020年度	561g/日・人	521g/日・人	年間の家庭系ごみ量÷行政区内人口(※資源化量を除く)	一般廃棄物処理基本計画 資料編
リサイクル率	2020年度	22.5%	24.8%	(直接資源量+処理後再生利用量+集団回収量)÷(排出量+集団回収量)	一般廃棄物処理基本計画 資料編
併用(旧分別)収集箇所数	2020年度	126箇所	123箇所		資源回収ST設置状況(行政区別)
斎場運営経費	2020年度	54,299千円	36,860千円		一般会計 斎場関連直接事業費
市営墓地充足率	2020年度	95.9%	94.4%	(使用区画数-返還数)÷総区画数	
6-3 環境保全対策の推進					
水質における環境基準達成率	2020年度	84.4%	90.0%		備前市の環境保全令和元年度版(平成30年度環境調査資料)
公共施設の二酸化炭素排出量(2013年度比)	2020年度	22%削減	30%削減		備前市地球温暖化対策実行計画【事務事業編】

3. 計画策定経緯・フロー図



4. 備前市振興計画審議会諮問・答申

備企第130号
令和2年9月29日

備前市振興計画審議会会長 殿

備前市長 田原 隆雄

第3次備前市総合計画・第2期総合戦略について（諮問）

備前市の新しい総合計画を策定したいので、備前市振興計画審議会条例（平成17年3月22日条例第10号）第2条の規定に基づき、審議会の意見を求めます。

令和2年12月21日

備前市長 田原 隆雄 様

備前市振興計画審議会
会長 橋本 成仁

備前市新総合計画について（答申）

令和2年9月29日付け備企第130号で本審議会に諮問された第3次備前市総合計画・第2期総合戦略骨子案について、審議した結果、下記のとおり答申します。

記

諮問された第3次備前市総合計画・第2期総合戦略骨子案について、各政策ごとのまちづくりの方針について、現状と課題の捉え方がまちがっていないか、各政策の取り組みの方向性が妥当かなどの視点から議事を進めました。



別紙

【全 体】

希望ある、未来に期待のもてるまちづくりを目指し、市全体で考えていくよう努められたい。また、計画の記載についても、未来に期待を抱くことのできるポジティブな表現となるよう留意されたい。

- 市民が主体的にまちづくりに積極的に関わることができるよう、その仕組みづくりや機運の醸成に努められたい。
- 地域による格差や国籍による分断のない、一体的なまちづくりの視点をもって施策展開に努められたい。
- 本計画を確実に推進するために、計画の進捗状況をしっかりと把握し検証することができる体制を整備されたい。

5. 備前市振興計画審議会委員名簿

役職	氏名	所属	備考
会長	橋本 成仁	岡山大学環境生命科学研究科	学(教育機関)
副会長	川平 章	備前市自治会連絡協議会	市民
委員	大井 祐史	備前商工会議所	産(産業界)
	中本 孝一郎	備前東商工会	
	江端 恭臣	備前県民局地域政策部地域づくり推進課	官(行政機関)
	中村 有美子	関西福祉大学看護学部看護学科	学(教育機関)
	小野田 誠	中国銀行片上支店	金(金融機関)
	山形 明	社会福祉法人 備前市社会福祉協議会	労(労働団体等)
	三木 隆司	備前市労働組合協議会	
	中藤 歳浩	山陽放送株式会社(RSK) 営業局	言(メディア等)
	浅野パトリツア	備前市国際交流協会	市民
	赤迫 康代	NPO法人(子ども達の環境を考えるひこうせん)	
	谷原 純子	公募	
	出井 鉄二	公募	
峰野 裕二郎	公募		
オブザーバー	石原 大夢	岡山県立備前緑陽高校 2年	高校生
	小幡 葉月	岡山県立備前緑陽高校 2年	
	講崎 香月	岡山県立備前緑陽高校 2年	
	松川 純	岡山県立備前緑陽高校 2年	

6. 市民会議等の様子・結果概要

高校生会議

- ① 日時：令和2年8月18日(火)13時30分～15時30分
- ② 人数：39名（備前緑陽高等学校の学生）
- ③ 内容：備前市の強み・弱み、理想の未来像について意見・アイデアを頂きました。
- ④ 活用：まちの将来像と各施策の取組の検討に活用しました。



主な意見抜粋

理想の未来像は？

- さまざまな面で活気のあるまち
- 活気があって、にぎやかで住みやすいcity
- 誰もが暮らしやすい、活気のあるまち
- みんなが暮らしやすい備前ならではの自然と文化があふれるまち
- 教育・医療で発展し、子どもから大人まで安心して暮らせるまち
- グローバル化が進む中で、外国人とともに働き、活気あふれるまち

理想の未来像を実現するためには？

- イベントのPRによる観光客の増加
- 公共交通機関の充実
- 自然環境・景観保護
- 各主体の連携（学校と行政）
- バリアフリーの実現
- 大きな商業施設・公園などの整備
- 学校教育の充実
- 医療の充実
- 異文化交流の推進

第1回市民会議

- ① 日時：令和2年8月29日(土)13時～15時
- ② 人数：32名
- ③ 内容：備前市のよいところ、理想の未来像について意見・アイデアを頂きました。
- ④ 活用：まちの将来像の検討に活用しました。



主な意見抜粋

備前市はどんなまち？

- 自然（海・山）が豊か、海・山の幸がある
- 歴史・文化資源が豊富（旧閑谷学校、備前焼など）
- 子育て・教育がしやすい
- 陸路も海路も、交通の便が良い
- 人のつながりが強い
- 観光資源が多い
- 自然災害が少ない

理想の未来像は？

- 未来の子どもたちが心から住み続けたいと思える魅力あるまち
- 「備前で子育てバンザイ！」と言えるまち
- ちょっと備前へいらっしやいーみんなでお出迎え
- 魅力発見－移住して住みたくなるまち
- 自分のまちを誇りに思えるまちづくり
- まちが美術館－環境アートを通じてまちを大切に、備前
- 子どもと若者の輝くまち

第2回市民会議

- ① 日時：令和2年9月26日(土)13時～15時
- ② 人数：30名
- ③ 内容：まちの課題を整理し、特に重要度が高い課題について意見・アイデアを頂きました。
- ④ 活用：政策立案や施策体系、各施策の取組の検討に活用しました。



主な意見抜粋

備前市のまちの課題って？

- 学校教育の充実
- コミュニティの育成と地域活動の支援
- 高齢者福祉の充実
- 魅力ある農林水産業の推進
- にぎわいをもたらす観光の振興
- 公共交通の確保
- 道路・港湾の整備

各分野の課題の優先順位は？

- 心を育てる教育環境づくり
- 既存施設の有効活用
- 地域コミュニティの活性化
- 地域医療体制の充実
- 産業の担い手不足の解消
- 起業マインドを持った若者への相談・支援
- 道路の整備
- 消防・防災の充実

第3回市民会議

- ① 日時：令和2年10月24日(土)13時～15時
- ② 人数：26名
- ③ 内容：課題解決のために自分たちにできること、課題解決のために必要な取組について意見・アイデアを頂きました。
- ④ 活用：各施策の市民等の役割の設定、各施策の取組の検討に活用しました。



主な意見抜粋

課題解決のために自分たちにできること

- 就学前の教育の充実
→親が育つ・交流できる場をつくる
- 子育て支援の充実
→地域に縛られないコミュニティの提供
- 移住・定住の促進
→地域のことに関心を持つ、地域の人を知る
- 消防・防災体制の強化
→防災グッズの準備、自ら努力し情報収集を行う

課題解決のために必要な取組

- 心を育てる教育環境づくり
→多様な人・価値観に触れる機会の提供
- コミュニケーションの希薄化
→趣味をきっかけとした集まりの増加
- 起業家マインドを持った若者への相談・支援
→地元の経営者が、学校で授業をする
- 消防・防災の充実
→自主防災、防災訓練への参加呼びかけ

7. アンケート実施概要・結果概要

中学生アンケート

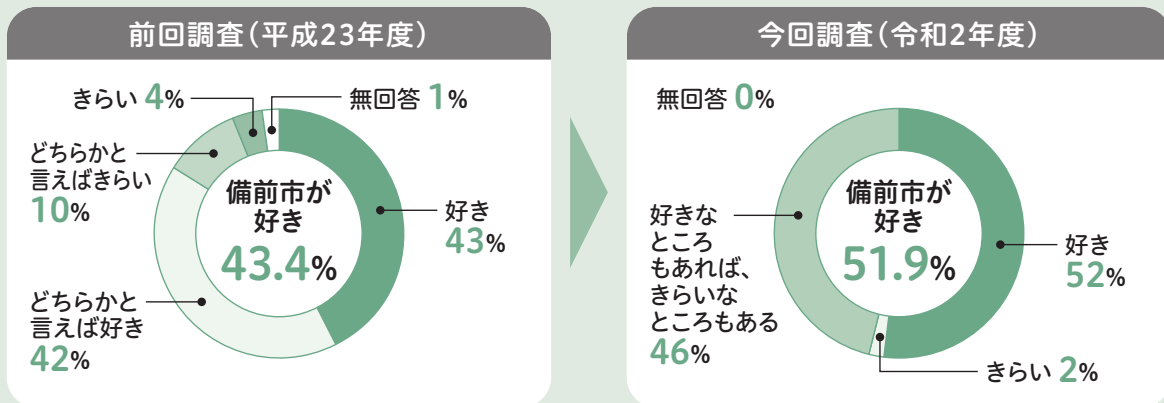
【調査概要】

項目	内容
1. 調査目的	第3次備前市総合計画策定の基礎資料として活用することを目的とする
2. 調査対象	市内在住の中学2年生 (231名)
3. 調査方法	各中学校に調査票を配布し、担任の先生より配布・回収
4. 調査期間	2020 (令和2) 年4月15日 (水) ~6月6日 (土)
5. 回収率	90.0% (調査票の配布・回収した日に欠席していた生徒がいたため生徒数と一致していない)

【調査結果 (一部抜粋)】

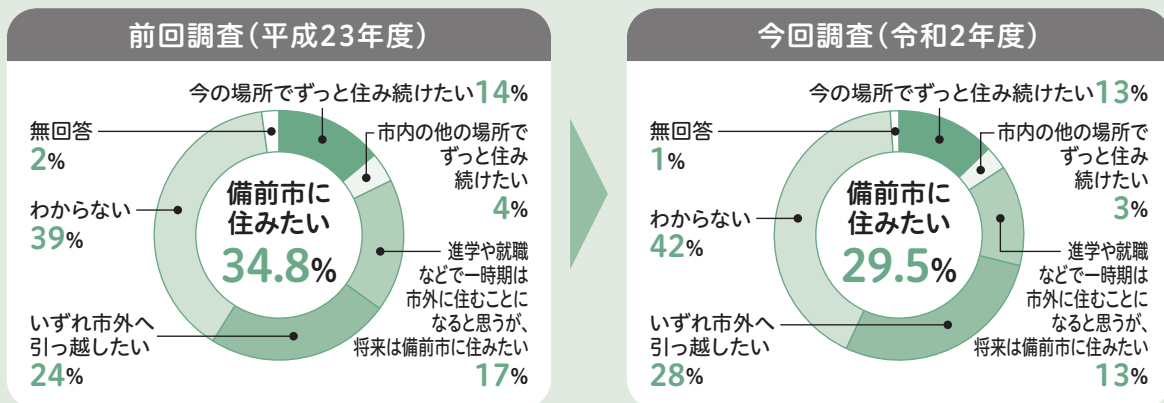
まちへの愛着度

「あなたは、自分が住んでいるまち「備前市」が好きですか?」と尋ねた結果、「好き」と回答した割合が前回調査結果と比べて高くなっています。



まちへの定住意向

「あなたは、将来も備前市に住み続けたいと思いますか?」と尋ねた結果、「備前市に住みたい (「今の場所でずっと住み続けたい」「市内の他の場所で住み続けたい」「進学や就職など一時期は市外に住むことになると思うが、将来は備前市に住みたい」の合計)」と回答した割合が前回調査結果と比べて低くなっています。



高校生（市内在住）アンケート

【調査概要】

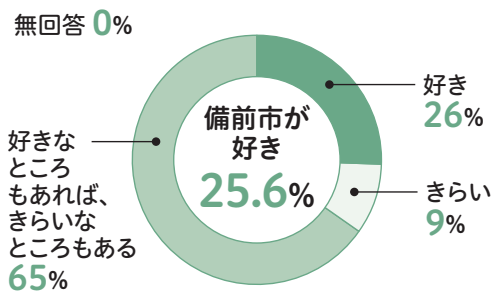
項目	内容
1. 調査目的	第3次備前市総合計画策定の基礎資料として活用することを目的とする
2. 調査対象	市内在住の高校生世代（15～18歳）（828名）
3. 調査方法	郵送による配布・回収
4. 調査期間	2020（令和2）年5月1日（金）～6月12日（金）
5. 回収率	46.6%

【調査結果（一部抜粋）】

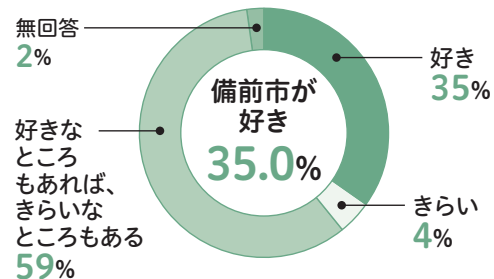
まちへの愛着度

「あなたは、自分が住んでいるまち「備前市」が好きですか?」と尋ねた結果、「好き」と回答した割合が前回調査結果と比べて高くなっています。

前回調査（平成23年度）



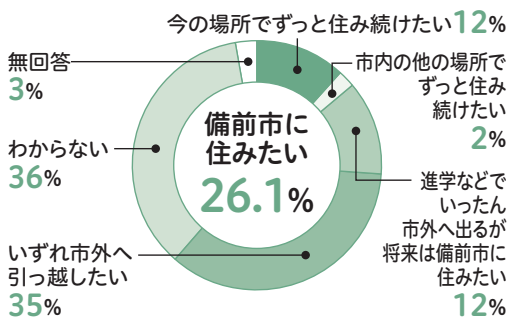
今回調査（令和2年度）



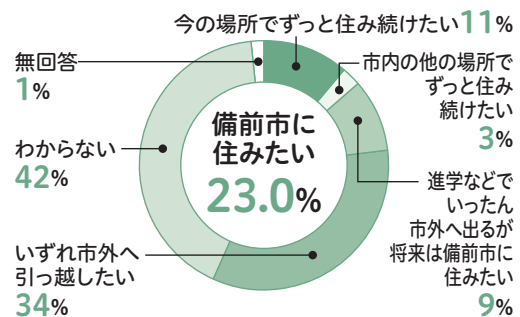
まちへの定住意向

「あなたは、将来も備前市に住み続けたいと思いますか?」と尋ねた結果、「備前市に住みたい（「今の場所でずっと住み続けたい」「市内の他の場所で住み続けたい」「進学などでいったん市外へ出るが将来は備前市に住みたい」の合計）」と回答した割合が前回調査結果と比べて低くなっています。

前回調査（平成23年度）



今回調査（令和2年度）



高校生（市外在住）アンケート

【調査概要】

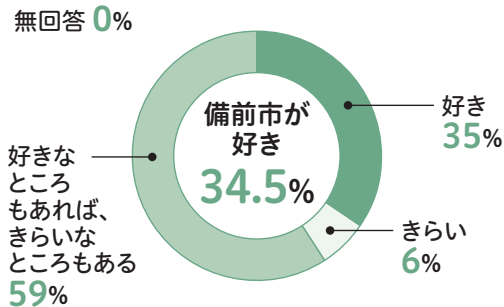
項目	内容
1. 調査目的	第3次備前市総合計画策定の基礎資料として活用することを目的とする
2. 調査対象	岡山県立備前緑陽高等学校の全生徒（ただし、市内在住者は除く）（304名）
3. 調査方法	WEB調査
4. 調査期間	2020（令和2）年6月10日（水）
5. 回収率	100.0%

【調査結果（一部抜粋）】

備前市への愛着度

「あなたは備前市が好きですか?」と尋ねた結果、「好き」と回答した割合は約3割を占めています。

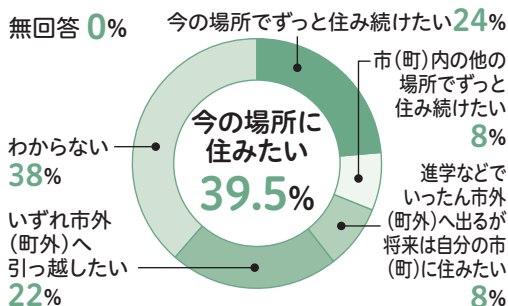
今回調査（令和2年度）



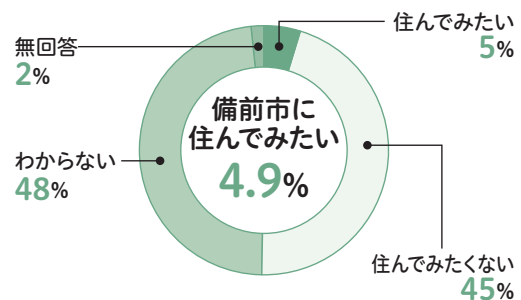
今住んでいる場所への定住意向／備前市への移住意向

「あなたは将来も自分の市（町）に住み続けたいと思いますか?」と尋ねた結果、「今の場所に住みたい（「今の場所ですずっと住み続けたい」「市（町）内の他の場所ですずっと住み続けたい」「進学などでいったん市外（町外）へ出るが将来は自分の市（町）に住みたい」の合計）」と回答した割合が約4割となっています。また、「あなたは将来、備前市に住んでみたいと思いますか?」と尋ねた結果、「備前市に住んでみたい」と回答した割合は1割以下となっています。

今回調査（令和2年度）



今回調査（令和2年度）



職員アンケート

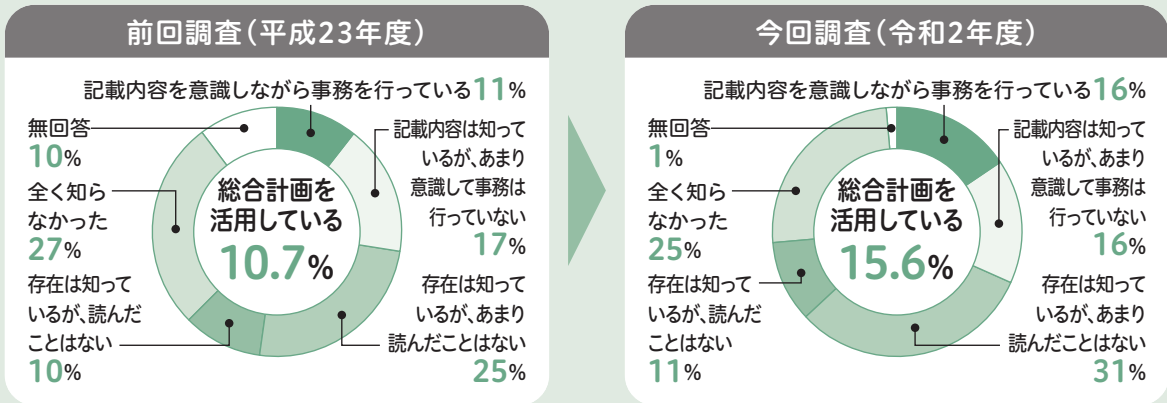
【調査概要】

項目	内容
1. 調査目的	第3次備前市総合計画策定の基礎資料として活用することを目的とする
2. 調査対象	備前市全職員（非正規職員を含む）（696名）
3. 調査方法	紙・WEBによる配布・回収
4. 調査期間	2020（令和2）年4月20日（月）～5月20日（水）
5. 回収率	72.0%

【調査結果（一部抜粋）】

総合計画の認知度

「現総合計画の認知について」尋ねた結果、「記載内容を意識しながら事務を行っている」と回答した割合が前回調査結果と比べて高くなっています。



目指す職員像

「今後あなたが目指す職員像は？」と尋ねた結果、「信頼される職員になる」「市民・地域に貢献できる職員になる」「市民目線の職員になる」などの回答が多くなっています。



市民アンケート

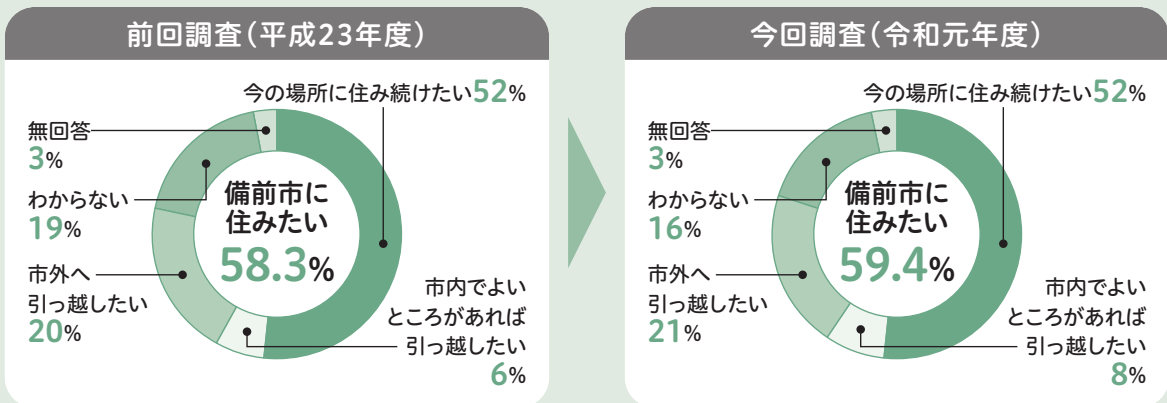
【調査概要】

項目	内容
1. 調査目的	今後の市政運営の基礎資料や総合計画の進捗管理に活用することを目的とする
2. 調査対象	市内在住の18歳以上75歳未満の男女3,000名
3. 調査方法	郵送による配布・回収
4. 調査期間	2019（令和元）年6月19日（水）～7月5日（金）
5. 回収率	31.5%

【調査結果（一部抜粋）】

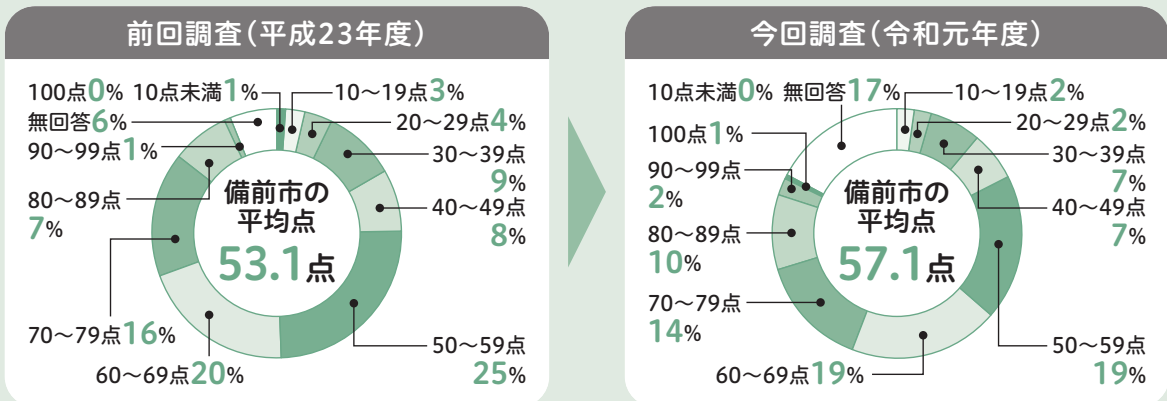
備前市への定住意向

「あなたは、今の場所に住み続けたいと思いますか？」と尋ねた結果、「今の場所に住みたい（「今の場所に住み続けたい」「市内でよいところがあれば引っ越したい」の合計）」と回答した割合が平成23年度調査結果と大きな変化はありません。




備前市の点数

「あなたにとって「備前市」は、100点満点で何点ですか？」と尋ねた結果、平均点は57.1点となっています。平成23年度調査結果と比べると備前市の点数は高くなっています。




8. SDGsの17の持続可能な開発目標と自治体行政の関係


貧困をなくそう

	説明	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
	自治体行政の果たし得る役割	あらゆる場所であらゆる形態の貧困に終止符を打つ 自治体行政は貧困で生活に苦しむ人々を特定し、支援する上で最も適したポジションにいます。各自治体においてすべての市民に必要な最低限の暮らしが確保されるよう、きめ細やかな支援策が求められています。


飢餓をゼロに

	説明	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
	自治体行政の果たし得る役割	自治体は土地や水資源を含む自然資産を活用して農業や畜産などの食料生産の支援を行うことが可能です。そのためにも適切な土地利用計画が不可欠です。公的・私的な土地で都市農業を含む食料生産活動を推進し、安全な食料確保に貢献することもできます。


すべての人に健康と福祉を

	説明	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
	自治体行政の果たし得る役割	住民の健康維持は自治体の保健福祉行政の根幹です。国民皆保険制度の運営も住民の健康維持に貢献しています。都市環境を良好に保つことが住民の健康状態の維持・改善に必要であるという研究も報告されています。


質の高い教育をみんなに

	説明	すべての人々に包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
	自治体行政の果たし得る役割	教育の中でも特に義務教育等の初等教育においては自治体が果たすべき役割は非常に大きいといえます。地域住民の知的レベルを引き上げるためにも、学校教育と社会教育の両面における自治体行政の取組は重要です。


ジェンダー平等を実現しよう

	説明	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う
	自治体行政の果たし得る役割	自治体による女性や子ども等の弱者の人権を守る取組は大変重要です。また、自治体行政や社会システムにジェンダー平等を反映させるために行政職員や審議会委員等における女性の割合を増やすのも重要な取組といえます。


安全な水とトイレを世界中に

	説明	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
	自治体行政の果たし得る役割	安全で清潔な水へのアクセスは住民の日常生活を支える基盤です。水道事業は自治体の行政サービスとして提供されることが多く、水源地の環境保全を通して水質を良好に保つことも自治体の大事な責務です。


エネルギーをみんなにそしてクリーンに

	説明	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
	自治体行政の果たし得る役割	公共建築物に対して率先して省エネや再エネ利用を推進したり、住民が省／再エネ対策を推進するのを支援する等、安価かつ効率的で信頼性の高い持続可能なエネルギー源利用のアクセスを増やすことも自治体の大きな役割といえます。


働きがいも経済成長も

8 働きがいも 経済成長も 	説明	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する
	自治体行政の 果たし得る役割	自治体は経済成長 戦略の策定を通して地域経済の活性化や雇用の創出に直接的に関与することができます。また、勤務環境の改善や社会サービスの制度整備を通して労働者の待遇を改善することも可能な立場にあります。


産業と技術革新の基盤をつくろう

9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 	説明	強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
	自治体行政の 果たし得る役割	自治体は地域のインフラ整備に対して極めて大きな役割を有しています。地域経済の活性化戦略の中に、地元企業の支援などを盛り込むことで新たな産業やイノベーションを創出することにも貢献することができます。


人や国の不平等をなくそう

10 人や国の不平等 をなくそう 	説明	各国内及び各国間の不平等を是正する
	自治体行政の 果たし得る役割	差別や偏見の解消を推進する上でも自治体は主導的な役割を担うことができます。少数意見を吸い上げつつ、不公平・不平等のないまちづくりを行うことが求められています。


住み続けられるまちづくりを

11 住み続けられる まちづくりを 	説明	包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する
	自治体行政の 果たし得る役割	包括的で、安全、強靱（レジリエント）で持続可能なまちづくりを進めることは首長や自治体行政職員にとって究極的な目標であり、存在理由そのものです。都市化が進む世界の中で自治体行政の果たし得る役割は益々大きくなっています。


つくる責任つかう責任

12 つくる責任 つかう責任 	説明	持続可能な生産消費形態を確保する
	自治体行政の 果たし得る役割	環境負荷削減を進める上で持続可能な生産と消費は非常に重要なテーマです。これを推進するためには市民一人ひとりの意識や行動を見直す必要があります。省エネや3Rの徹底など、市民対象の環境教育などを行うことでこの流れを加速させることが可能です。


気候変動に具体的な対策を

13 気候変動に 具体的な対策を 	説明	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
	自治体行政の 果たし得る役割	気候変動問題は年々深刻化し、既に多くの形でその影響は顕在化しています。従来の温室効果ガス削減といった緩和策だけでなく、気候変動に備えた適応策の検討と策定を各自治体で行うことが求められています。


海の豊かさを守ろう

14 海の豊かさ を守ろう 	説明	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
	自治体行政の 果たし得る役割	海洋汚染の原因の8割は陸上の活動に起因していると言われています。まちの中で発生した汚染が河川等を通して海洋に流れ出ることがないように、臨海都市だけでなくすべての自治体で汚染対策を講じることが重要です。


陸の豊かさを守ろう

 <p>15 陸の豊かさを守ろう</p>	<p>説明</p>	<p>陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p>
<p>自治体行政の果たし得る役割</p>	<p>自然生態系の保護と土地利用計画は密接な関係があり、自治体が大きな役割を有するといえます。自然資産を広域に保護するためには、自治体単独で対策を講じるのではなく、国や周辺自治体、その他関係者との連携が不可欠です。</p>	

平和と公正をすべての人に

 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>説明</p>	<p>持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p>
<p>自治体行政の果たし得る役割</p>	<p>平和で公正な社会をつくる上でも自治体は大きな責務を負っています。地域内の多くの市民の参画を促して参加型の行政を推進して、暴力や犯罪を減らすのも自治体の役割といえます。</p>	

パートナーシップで目標を達成しよう

 <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>説明</p>	<p>持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>
<p>自治体行政の果たし得る役割</p>	<p>自治体は公的／民間セクター、市民、NGO／NPOなどの多くの関係者を結び付け、パートナーシップの推進を担う中核的な存在になり得ます。持続可能な世界を構築していく上で多様な主体の協力関係を築くことは極めて重要です。</p>	

【出所】国連総合広報センター、UCLG (United Cities and Local Governments) (「私たちのまちにとってのSDGs (持続可能な開発目標) - 導入のためのガイドライン - (2018年3月版 (第2版))」(自治体SDGsガイドライン検討委員会編集))



BIZEN CITY

豊かな“自然と文化”、魅力あふれる“まち”、
活気ある“ひと”それが備前

第3次 備前市総合計画

(第2期 備前市まち・ひと・しごと創生総合戦略)

計画策定：令和3年9月

発行：令和4年1月

発行 備前市

編集 備前市 市長公室 企画課

印刷 友野印刷株式会社
